

倫理委員会議事要旨

1 日 時 2025年9月22日(月) 15:30~17:00

2 場 所 WEB開催(医学部附属病院西病棟1階 カンファレンスルーム)

3 出席者

氏名	所属	出欠	備考
桑原 知己	香川大学医学部分子微生物学	○	委員長
横平 政直	香川大学医学部医学教育学	○	
門田 球一	香川大学医学部分子腫瘍病理学	○	
三木 崇範	香川大学医学部神経機能形態学	○	副委員長
矢島 俊樹	香川大学医学部呼吸器・乳腺内分泌外科学	○	
辻 晃仁	香川大学医学部臨床腫瘍学	×	副委員長
谷本 公重	香川大学医学部小児看護学	○	
神原 憲治	香川大学医学部心身医学	×	
納田 広美	香川大学医学部附属病院看護部	○	
田中 裕章	香川大学医学部附属病院薬剤部	○	
中山 充	香川大学 名誉教授	○	外部
岡 義博	岡法律事務所 弁護士	○	外部
森 雅登	広島工業大学 広報担当参事	○	外部
玉越 浩達	高松中央ロータリークラブ	○	外部
下野 隆一	香川大学医学部小児外科学	○	
祖父江 理	香川大学医学部附属病院腎臓内科	×	
鶴田 智彦	香川大学医学部附属病院周産期学婦人科学	×	
川人 潤子	香川大学医学部基礎心理学	×	
安田 真之	香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センター	×	
塩田 敦子	香川大学医学部健康科学	×	

陪席者

臨床研究支援センター非常勤教員 矢野 浩史

事務職員 研究協力課 井上課長

臨床研究係 水野係長

研究協力係 富木田係員、青木係員、杉本事務補佐員

4 議 事

< 審議事項 >

(1) 通常審査について (6件)

受付番号	2025-136 (新規申請)
課題名	広範囲の筋弛緩状態を表せる筋弛緩度指標と薬力学モデルの検討
研究代表者	集中治療部 武田 敏弘
説明者	集中治療部 武田 敏弘
審議内容	課題について、説明者より説明があり、委員による質疑応答を行った。 審査の結果、「承認」とした。
備考	香川大学を主幹機関とする多機関共同研究のため、以下の共同研究機関について一括審査を行った。 兵庫県立大学

受付番号	2025-137 (新規申請)
課題名	全身麻酔時の薬剤投与速度調整の必要性の推定法の検討
研究代表者	集中治療部 武田 敏弘
説明者	集中治療部 武田 敏弘
審議内容	課題について、説明者より説明があり、委員による質疑応答を行った。 審査の結果、「承認」とした。
備考	香川大学を主幹機関とする多機関共同研究のため、以下の共同研究機関について一括審査を行った。 兵庫県立大学

受付番号	2025-134 (新規申請)
課題名	歯科医院に通院する歯周病患者を対象とした血糖・HbA1c 測定による耐糖能異常者の検出と歯周病指標との関連の検討
研究代表者	内分泌代謝内科 福長 健作
説明者	内分泌代謝内科 小林 俊博
審議内容	課題について、説明者より説明があり、委員による質疑応答を行った。 審査の結果、「承認」とした。
備考	香川大学を主幹機関とする多機関共同研究のため、以下の共同研究機関について一括審査を行った。 阿部歯科医院

受付番号	2025-135 (新規申請)
課題名	電子常磁体共鳴法(EPR)を用いた爪組織での被ばく線量計測
研究代表者	歯科口腔外科学 三宅 実
説明者	歯科口腔外科学 三宅 実

審議内容	課題について、説明者より説明があり、委員による質疑応答を行った。 審査の結果、「承認」とした。
備考	香川大学を主幹機関とする多機関共同研究のため、以下の共同研究機関について一括審査を行った。 国立保健医療科学院

受付番号	2025-138（新規申請）
課題名	EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対するアミバンタマブ+化学療法併用療法の実診療における有効性と安全性を評価する観察研究
研究代表者	呼吸器内科 渡邊 直樹
説明者	呼吸器内科 渡邊 直樹
審議内容	課題について、説明者より説明があり、委員による質疑応答を行った。 審査の結果、「承認」とした。
備考	香川大学を主幹機関とする多機関共同研究のため、以下の共同研究機関について一括審査を行った。 広島大学、県立広島病院、島根大学医学部附属病院、下関市立市民病院、岩国医療センター、岡山大学病院、四国がんセンター、高知赤十字病院

受付番号	2025-133（新規申請）
課題名	十全大補湯が BCG 膀胱内注入療法の有効性と安全性に及ぼす影響を評価する前向き比較研究
研究責任者	泌尿器・副腎・腎移植外科 阿部 陽平
説明者	泌尿器・副腎・腎移植外科 田岡 利宜也
審議内容	課題について、説明者より説明があり、委員による質疑応答を行った。 審査の結果、「条件付承認」とした。 ア) 同意説明文書 4. この研究の方法 投与群と非投与群の割付方法を追記すること。 イ) 同意説明文書 説明文書が投与群に沿った内容となっているため、非投与群にも十分な説明が行えるよう文書内容を改めること。加えて、対象者がどちらの群に該当するのかが分かるよう、同意書に「投与群」「非投与群」のチェック欄を設けること。
備考	

<報告事項>

(1) 迅速審査等の審議結果について

委員長から、7月から8月の迅速審査60件、報告事項1件について説明があり、審議結果

の確認を行った。

続いて岡委員から、非該当の研究が多いが申請不要であることを周知すべきでないかとの発言があり、委員長より、倫理審査に係る番号を学会等から要望され、審査が必要となるケースがある旨、ならびに非該当研究の申請があった際には、他委員の負担を増やさないう、委員長による1名審査を実施している旨説明があった。

(2) 終了報告について

委員長から、研究者より提出された終了報告10件について説明があり、確認を行った。

(3) 成果報告について

委員長から、研究者より提出された成果報告13件について説明があり、確認を行った。

(4) 進捗状況報告について

委員長から、令和7年9月10日までに受理された、令和7年度の進捗状況報告27件について説明があり、確認を行った。

<その他連絡事項>

委員長より、今月末をもって委員長職を退任し、次回倫理委員会以降は委員長が交代となる旨連絡があった。

以上